

住民の方々との協働

○中海・宍道湖一斉清掃

中海と宍道湖が、ラムサール条約湿地として登録されたことを契機に、条約の趣旨である「環境保全」と「賢明な利用(ワイズユース)」に対する地域住民の意識の高揚を図ることを目的として、島根・鳥取両県及び関係自治体並びに地元住民等の協働により、毎年6月の第2日曜日に実施しています。



○五感による湖沼環境モニター

誰でも湖沼環境を五感(見る・聞く・触れる・臭う・味わう)で評価できる新たな指標を作成しています。この指標を用いて、公募したモニターによる湖沼環境調査を定期的に行っています。



○みんなで調べる流入河川調査

小学生や中学生が宍道湖・中海に流入する河川で定期的に調査を行っています。調査を行うことで、水質に関する理解を深め、宍道湖・中海の水質浄化活動の推進等に発展しています。



○その他の取り組み

宍道湖・中海湖沼環境保全推進員による環境保全活動の普及・啓発や、NPOによるヨシの植栽や、栄養塩の回収につながる藻の刈り取り体験など、様々な活動が行われています。



島根県の普及啓発事業の紹介

○下水道出前講座

平成19年度から、総合学習の時間で上水道や下水道を勉強している小学生4年生を対象に下水道のしくみや役割などをわかりやすく解説する「下水道出前講座」を開催しています。

下水道出前講座では、最寄りの河川の水質測定(CODパケットテスト)や流入水と放流水の透視度測定などの実験や微生物の観察など、体験を通じて子供たちに下水道への関心を持ってもらい、参加校は年々増加しています。



下水道出前講座の実績

年度	受講人数	年度	受講人数
平成19年度	7校261名	平成22年度	35校1,422名
平成20年度	18校830名	平成23年度	31校1,273名
平成21年度	27校1,061名		

○下水道展

下水道を含めた汚水処理施設の役割やその仕組みについて理解を深めていただくため、県・市町村及び関係機関が協力して、年1回下水道展を開催しています。

近年では、環境をテーマとした「環境フェスティバル」へ出典という形で下水道展を開催しており、多くの来場者に対して、下水道の大切さを理解していただく工夫を凝らしてPRしています。

■近年の開催状況

平成19年度 「下水道展2007しまね」

- ・日 時 平成19年10月14日(日)
- ・会 場 島根県芸術文化センター「グラントワ」(益田市)

平成20年度 「下水道展2008しまね」

- ・日 時 平成20年9月14日(日)
- ・会 場 くにびきメッセ(松江市)

平成21年度 「下水道展2009しまね」

- ・日 時 平成21年11月1日(日)
- ・会 場 くにびきメッセ(松江市)

平成22年度 「下水道展2010しまね」

- ・日 時 平成22年10月9日(土)
- ・会 場 くにびきメッセ(松江市)

平成23年度 「下水道展2011しまね」

- ・日 時 平成23年9月18日(日)
- ・会 場 くにびきメッセ(松江市)

